

すこやか

第222号
2月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



ごあいさつ



三田市民病院
事業管理者
院長
荒川 創一

車受け入れは月平均280件でここ3か月は毎月300件を超えています。また、ご開業の先生方からの緊急受診依頼は2021年度月平均約104件（2020年度の79件より増加）で、そのうち即日入院とられた方は57%に至っています。

このように当院は地域医療支援病院として、三田市を中心とする約30万人住民の方々に対する急性期医療を今後も担い続けていく使命感を全職員で共有して参ります。

常に皆様に頼られる病院であることを本年もまた持続していく所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

2022年1月

2022年 明けましておめでとうございます。

目出度い新春と言いたいところですが、新たな変異を起こした新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）オミクロン株が年明け早々から急激な伝播を起こしています。昨年11月によりやく第5波が収まって、社会・経済活動が本年からは正常化するかと思いきや、はや第6波に見舞われているという現状です。

今回のオミクロン株は、重症化することは少ないようであり、その前のデルタ株より病原性は低いといわれておりますが、伝播性は非常に高く、予断を許さない状況です。

当院では、この2年足らずの間に380名の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の入院患者さんを専用病棟に受け入れ、出来る限りの治療に当たって参りました。同時に、発熱外来を常時開設し、多くの抗原定量検査およびPCR検査を実施してきました。

一方で、コロナ以外の傷病に対しましても、可能な限り通常の診療体制をとり、2021年度の救急





喫煙が及ぼす手術の影響について

リンクナース委員会

看護部患者支援リンクナース委員会では患者さんへ役立つ情報を定期的に連載しています。

今回は、なぜ手術前の禁煙が必要なのかQ&Aでお答えさせていただきます。

世界的に健康志向が高まる中で喫煙者は年々減少しています。日本における喫煙率は令和元年で男性27.1%、女性7.6%です。しかし禁煙が頭によぎってもなかなかできずにいる方もいらっしゃると思います。特に手術を受けられる患者さんにとっては、術後経過に喫煙が大きく影響します。今回の情報から禁煙を考える機会にして頂ければと思います。

Q1 手術前に禁煙しなかったらどうなるのでしょうか？

A. 全身麻酔の影響で今までより痰の量や咳は5～10倍多くなり、手術後は傷の痛みで咳に力が入らない事が加わり、呼吸器合併症の発生率を高めます。また喫煙は血の流れや酸素の取り込みを低下させ手術中の不整脈や心筋梗塞など、循環器系や脳血管系の合併症、更には傷の治りも遅くなるなど、喫煙者は非喫煙者に比べて手術後合併症のリスクが非常に高くなります。

Q2 禁煙はいつからはじめれば良いのでしょうか？手術の一日前や入院してからでもいいですか？

A. 禁煙は早ければ早いほど術後合併症予防の効果は大きくなります。手術中、手術後の経過がよくなるよう我々も最大の努力をいたします。患者さんも手術が決まった時点で最良の状態ですぐ手術がむかえられるよう禁煙を必ずお願いします。

Q3 禁煙はいつまで続けなければならないのですか？

A. 禁煙は先に述べたような様々な悪影響を避けることができ、手術後も継続することで代表的な死因である、がん・血流の滞り・呼吸疾患という全ての発症リスクが下がり、寿命を延ばすことができます。実感するところでは、何より空気やお水が美味しく感じるのではないのでしょうか。これを良い機会ととらえてチャレンジしてみませんか。

Q4 家族が喫煙しています。大丈夫ですか？

A. タバコを吸わなくても周囲に喫煙者がいると、副流煙を吸ってしまうことになり、これを「受動喫煙」といいます。タバコの煙には、喫煙者が直接吸い込む煙＝「主流煙」と、火のついた先端部分から立ち上る煙＝「副流煙」があります。

フィルターを通らない「副流煙」には喫煙者本人が吸う「主流煙」より高濃度の有害物質が含まれており、喫煙者以上に影響が大きいといわれる所以です。受動喫煙による影響で年間1万5千人が死亡しているとの推計もあります。(平成28年国立がんセンター発表) ご家族にも禁煙にご協力いただくか受動喫煙とならないよう工夫をしていただきたいと思います。

最後に、禁煙外来のある病院や施設があります。チャレンジしてみようと思われたら、担当医師に相談してみてください。また、ご家族とお話しいただき活用されてはいかがでしょうか。

部署紹介

①

臨床検査科

【部署の概要】

臨床検査科は、検体検査部門（一般検査・血液検査・生化学検査・免疫検査・微生物検査）、輸血検査部門、病理検査部門、生理検査部門に加え、現在は新型コロナウイルス検査に対する検査部門が加わり、良質な高度医療の推進と救急中心の急性期医療を24時間支えています。

【専門職】

全員が「臨床検査技師」の国家資格を持って勤務しています。また、各分野の専門性を高め、より高度な医療を提供する為に専門学会の認定資格を取得しています。

1) 細胞検査士

…がんの早期発見に欠かせない細胞診検査のスペシャリスト

2) 超音波検査士

…心臓の動きや血流など臓器の状態を動きで見るスペシャリスト

3) 認定輸血検査技師

…安全な血液製剤の選択や検査、副作用などへの対応のスペシャリスト（一部抜粋）

【特徴】

検体検査部門では、自動分析装置を活用することで多くの検査を少人数で効率よく行い、栄養指導や糖尿病、感染管理などのチーム医療にも積極的に参加しています。

輸血部門では、輸血検査専任の技師が24時間サポートできる体制を構築し、安全な輸血を提供しております。

病理部門では、細胞診検査はもちろん、病理専門医が常勤しており、手術中に迅速に腫瘍の良悪の判断や切除部位の腫瘍の有無を判断する術中迅速病理検査や抗がん剤の選択に有効な免疫染色検査など多くの検査を実施しています。

生理検査部門では、予約患者さんに加え、救急外来や緊急手術のために心臓の状態を把握する必要がある場合など、至急で検査結果を必要とする患者さんに対して診療が遅延しないよう、迅速に対応しています。



自動分析装置



病理迅速検査

このように、多くの分野を院内で実施している特徴を活かし、科内で専門知識を活かして情報交換を行うことで、医師に積極的に情報提供を行うなど多方面で臨床検査技師の力が患者さんのために発揮できるよう日々精進しております。



部署紹介

②

リハビリテーション科

リハビリテーションと聞くと脳卒中や骨折の患者さんのイメージが多いかと思いますが、近年では、様々な疾患が対象となっています。

当院でも、脳卒中、骨折や肩関節疾患、スポーツ疾患、心筋梗塞などの循環器疾患、がん、呼吸器疾患、不活動に伴う廃用症候群、嚥下障害、糖尿病(主に教育)などの幅広い疾患のリハビリを実施しています。当科で現在、特に力を入れている取り組みを3つご紹介します。

1. 早期リハビリテーション

当科では出来るだけ早期からのリハビリ介入を心がけており、脳卒中や循環器疾患では早ければ発症日から、整形外科疾患では術後翌日より介入していることも珍しくありません。また、呼吸器疾患で人工呼吸器管理中であっても十分に安全に配慮しながらリハビリを実施しています。

修士	3名
3学会合同呼吸療法認定士	3名
心臓リハビリテーション指導士	2名
心不全療養指導士	1名
日本糖尿病療養指導士	2名
認定理学療法士 (運動器)	1名
認定理学療法士 (代謝)	1名
がんリハビリテーション研修会修了者	12名
食生活アドバイザー 3級	2名



2. リハビリテーションの質の向上 (認定資格取得者)

患者さんや他部門のスタッフの要望に答えるために研鑽し、各種学会や団体等の認定資格の取得も積極的に取り組んでいます。

3. 笑顔になれるリハビリテーション

リハビリと聞くと「痛い」「辛い」ことを耐えるイメージがありますが、少しでも楽しめ、笑顔がでるようなリハビリを心がけています。

ひとりひとりの目標に向かって全力でサポートします。一緒に頑張っていきましょう。





医師からのメッセージ



日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



宮川 光二 副部長

- 診療科 腎臓内科
- 専門分野 内科的腎疾患全般
- 資格
日本内科学会 認定内科医
日本透析医学会 専門医
難病指定医

Message

2009年より当院に勤務しております。主に内科的腎疾患全般の診療を行っております。遺伝性疾患である多発性のう胞腎の診療も行っており、希望される方にはトルバプタン（サムスカ）での治療も行っております。



宮崎 茂典 部長

- 診療科 泌尿器科
- 専門分野 尿路性器疾患 全般
- 資格
泌尿器科専門医

Message

腎臓癌や前立腺癌のロボット手術、膀胱癌、前立腺肥大症や尿路結石の内視鏡下手術など週3日は手術に携わり、週2日は外来の午前診・午後診を担当しています。

時間があれば気分転換と体力維持のため、山登りをしています。



新任 医師紹介

当院では令和4年1月より新しく医師を迎え入れました。よりいっそう日々の診療に力をいれてまいります。



耳鼻咽喉科 副医長

鶴田 賀之

つるた ともゆき

1月1日～

診療科：耳鼻咽喉科

専門分野：耳鼻咽喉科疾患全般

ひとこと：令和4年1月より耳鼻いんこう科に着任しました。三田市民病院での勤務は6年ぶりです。地域の医療に貢献できるよう努力いたします。

出身地：兵庫県



形成外科 医員

葛原 奈津美

くずはら なつみ

1月1日～

趣味：ダイビング・ゴルフ

診療科：形成外科

ひとこと：1月より着任した専攻医2年目の「くずはら」と申します。ちょっとした傷のことでもご相談いただけましたら嬉しいです。至らない点が多々あると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

出身地：沖縄県

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



せや眼科 瀬谷 隆 院長

近年の眼科治療は、手術によって治すことのできる疾患が多くなり、白内障に対する眼内レンズ移植術、網膜疾患に対する硝子体手術、緑内障手術など、ここ20年以内に格段にその技術は進化しました。その結果としてほとんどの手術が日帰りで行えるようになりました。

せや眼科では、このような眼科医療の先進性を生かしつつ、一方でアレルギー性結膜炎、眼精疲労など皆さんが身近な日常で悩まされている疾患に対する治療に至るまで、幅広く取り組んでおります。

悩んでいる患者様に誠心誠意向かい合い、ご期待に応えることをモットーとしております。目の病気に関することなら、何でもお気軽にご相談ください。



〒669-1528 三田市駅前町8-4 三田サウスⅢ 1階

電話：079-559-8887

ホームページ：<http://seya-eye-clinic.com/>

診察科目：眼科

診察時間：午前9時30分～13時／午後3時30分～6時30分

休診日：土曜日の午後、木曜・日曜・祝日

診療時間 午前：9:30～13:00 午後：15:30～18:30

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

黒須内科クリニック 黒須 功 院長

国立病院機構兵庫中央病院に20年間、呼吸器科を主に勤務後、平成19年に黒須内科クリニックを開院し、15年目を迎えています。

診療内容は、内科・呼吸器疾患ですが、難治性咳嗽、気管支喘息、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）、睡眠時無呼吸症候群、禁煙外来、在宅酸素療法、非結核性抗酸菌症、間質性肺炎などの呼吸器疾患を中心に診療しています。

場所は三田駅の近くで、駐車場は当院前のローソン駐車場敷地内左側と右横にあります。今後とも地域の呼吸器疾患を主とした治療に専念していきたいと思っています。スタッフ一同お待ちしております。

〒669-1529 三田市中央町9-38 ユマニティビル1階

電話：079-569-7103

診察科目：内科・呼吸器内科

休診日：土曜・日曜・祝日、火曜・木曜の午後



診療時間 午前：9:00～12:00 午後：17:30～19:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	×
午後	○	×	○	×	○	×

編集後記

新年が明けて、はやひと月が経ちました。コロナ禍が早く収まる事を期待しつつ、春の訪れを待ちたいものですね。まだまだ、寒さが厳しい日々が続きますが体調管理に気をつけお過ごしください。

すこやか(第222号)
令和4年2月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>